

皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和3年第1回江田島市議会を開会するに当たり、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただき、深く感謝いたしております。

また、早朝より定例会の傍聴にお越しをいただいた皆様に、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、一昨年11月、中華人民共和国湖北省武漢市で発症いたしました新型コロナウイルス感染症は、依然として猛威を振るっており、昨日、2月24日現在、世界中で1億1,210万人を超える感染者と248万人もの方が亡くなるという事態に至っております。この収束に向けての希望の第一歩となりますワクチンの接種が、現在105の国や地域(海外領土を含む)で進められており、国内においても、10都府県で緊急事態宣言が継続される中、医療従事者への先行接種が、2月17日から開始をされました。

本市におきましても、広島県及び市内医療機関と連携し、4月以降の高齢者の皆様へのワクチン接種に向けた体制整備を進めているところでございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組も1年余りを経過しております。

高齢者の方が多い本市において、医療従事者の皆様を始め、福祉・介護の現場で働く皆様の取組には、頭の下がる思いがいたします。本当に感謝をいたしております。事業者の方々、市民の皆様の御苦勞に対しましては、先に成立いたしました国の補正予算による地方創生臨時交付金などを活用しながら、精一杯、支援に努めてまいります。皆様には、自分自身のため、そして、大切な人のためにも、一人ひとりがしっかりとマスクの着用、うがいと手洗いの励行、三密回避を守り、新しい生活様式による感染対策の徹底をお願いをいたします。引き続き、お互いが助け合い、励まし合い、希望をもって頑張ってください。

このような中、編成をいたしました令和3年度予算案につきましては、私の2期目の最初の予算でございます。新型コロナウイルス感染症への対応に全力で取り組むとともに、「しごとの創出」「子育てしやすい環境づくり」及び「健康寿命の延伸」の3つの重点テーマを掲げ、引き続き「住む人も、訪れる人も『ワクワクできる島』えたじま」づくりに取り組んでまいります。

その内容につきましては、明日、26日に予定をしております「市長施政方針」の中で御説明させていただきます。

地方分権改革の推進による「平成の大合併」から20年。本市も誕生から17

年目を迎えております。現在、国においては、少子高齢化の急速な進展による様々な社会的課題に対する解決策の構築を迫られております。さらには、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大は、私たちの日常生活に大きな影響を与えるとともに、社会構造の再構築を迫られるものとなりました。

地方行政制度は、新たな変革の時期を迎えようとしております。次代に引き継ぐまちづくりを見据えて、この時期に3代目市長として、江田島市の舵取りを担うことの重責を日々感じながら、そのやりがいにも期するものがございます。

わが故郷、江田島市には、多くの「宝」がございます。

市民の皆様にお話を伺いますと「瀬戸内の穏やかな海に抱かれた豊かな自然。そして、気持ちの温かい人との触れ合いに恵まれた暮らし。これこそが、江田島市の宝です。」と、お一人お一人のお言葉、表現にこそ違いがあるものの、多くの方から、このような思いを聞かせていただいております。

「豊かな自然と温かな人」、私自身も、その「宝」に触れ、年を重ねるごとに故郷への思いを強くし、多くの方々との出会いに感謝しつつ、江田島市をより良いまちにしたいとの思いで、日々、務めております。

そして、今年に入りましても、また、多くの宝に出会う機会に恵まれました。

去る1月15日・16日の二日間、地域おこし協力隊の牛尾奈緒子さんの企画による『江田島市民がPR大使』撮影会が開催されました。

これは、誰かが江田島市のことを話したり、SNSなどで投稿すれば、それは市のPRに繋がっている。ということは、市のことを一番よく分かっている市民の皆さんが「市民PR大使」なのではないか？という思いから立ち上げた企画でございます。

真冬の、しかも港での撮影会に、本市の魅力発信を行うための取組に二日間で62組、150人もの市民の皆さんに御協力をいただきました。小さなお子様を連れた御家族、職場の仲間やお友達、民泊受入れ家庭の皆さん、多くの方々が創意工夫を凝らし「大好きな江田島をもっともっと元気にするぞ」という熱い思いと心温まる笑顔のあふれる撮影会でございました。

この模様は、「江田島市魅力発信プロジェクト事業」として、テレビ番組の中でも紹介をされましたので、御覧いただいた方もあるのではないのでしょうか。

このプロジェクトは、テレビ新広島の人気番組「ひろしま満点ママ！」や「プライムニュース」などの中で「食」や「体験」そして「人」にスポットをあて、2月8日から1週間にわたり本市の魅力情報を発信したもので、様々な番組で紹介される市民の皆さんのお姿に元気をいただきました。

私は、常々、皆様に「私の夢は、日々の仕事を通じて、市民の皆様から『江田島市には、たくさんの宝があるけれども、市役所の職員が宝だ』と言ってもらえることである」と話をしております。それは、市民の皆様から、そう言っていただいた

時には、必ずや、江田島市は、良いまちになっていると、確信をするからであります。このことを職員と共有し、この一念で、これからも職員とともに日々、精進をしていきたい、このように考えております。

議員各位の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さて、今議会では、企業誘致に伴います市有財産の処分についてほか、新型コロナウイルス感染症対策のための支援策に関する補正予算等、当面する市政の重要案件につきまして御審議をお願いすることといたしております。

これら各案件につきましては後ほど御説明を申し上げます。何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、12月開会の定例会以後の市政の主な事柄につきまして、主なものを報告させていただきます。

市政報告書 1 ページ、1 項目めでございます。

「新型コロナウイルス感染症に係る保健師の派遣について」でございます。

広島県と締結いたしました派遣協定に基づき、令和2年12月19日から22日まで及び令和3年1月5日から8日までの計8日間、本市から広島市保健所に保健師2名を派遣いたしました。

派遣先では、感染者の方の行動履歴を電話で聞き取るなどの積極的疫学調査に従事いたしました。

今後も引き続き、広島県等との連携を図り、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めてまいります。

他の項目につきましては、報告書のとおりでございます。

以上で、報告を終わらせていただきます。